

大船渡湾内観測結果(No.4)

“今月の話題”

湾内の水温は11～23℃台であり、表層で例年よりも1～2℃程高めとなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは湾内全域で低めでした。湾口付近の海底では溶存酸素が低下していますので、今後の情報にご注意下さい。

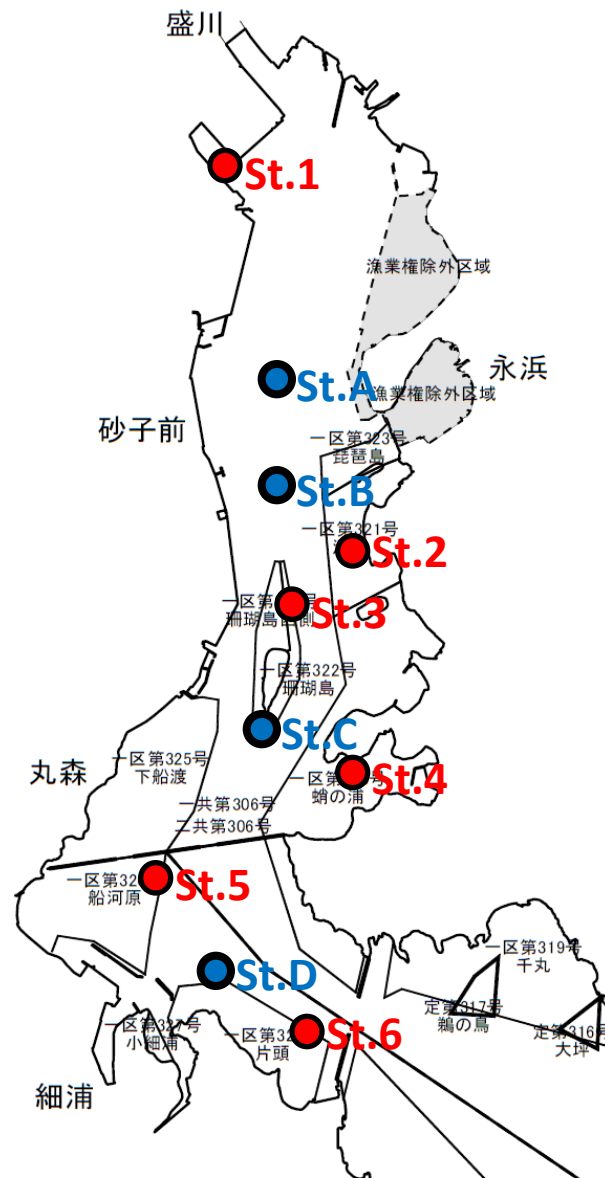
7月11日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度は4.0～9.0mであり、平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、-0.5～+1.7mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが17.9～22.5℃、水深10mが14.8～15.4℃でした。平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、水深2.5mが+0.6～+5.8℃、水深10mが-0.4～0.0℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾
 調査担当:水産技術センター

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成29年7月11日					
観測時刻		11:43	10:14	12:10	12:34	12:52	13:11
天候		晴					
気温(°C)		25.7					
風向		S					
風力		2					
水深(m)		8.2	23.8	26.1	18.5	25.6	37.2
透明度(m)		4.0	6.5	7.5	6.5	9.0	8.0
水色		8	6	6	6	5	5
水温(°C)	表層0m	23.9	23.7	23.9	23.7	22.5	19.8
	水深2.5m	22.5	18.1	17.9	19.2	18.0	18.4
	水深10m	-	15.4	15.2	14.8	15.3	15.1
	海底上1m	16.0	13.2	12.8	13.6	13.2	11.3
塩分	表層0m	25.7	25.9	29.3	30.7	30.9	32.4
	水深2.5m	29.7	33.1	33.1	32.8	33.2	33.1
	水深10m	-	33.6	33.6	33.7	33.7	33.7
	海底上1m	33.4	33.6	33.6	33.7	33.7	33.6
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	122.2	121.3	131.7	130.8	126.0	126.8
	水深2.5m	134.8	129.3	128.7	125.2	122.5	123.1
	水深10m	-	122.2	119.6	113.9	118.7	117.2
	海底上1m	115.2	99.6	83.4	95.9	94.8	46.0
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	1.8	1.2	1.0	1.4	0.7	0.6
	水深2.5m	2.3	0.7	0.5	0.7	0.5	0.7
	水深10m	-	1.0	0.9	1.7	0.8	1.0
	海底上1m	2.4	1.8	1.2	1.6	1.2	0.7



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

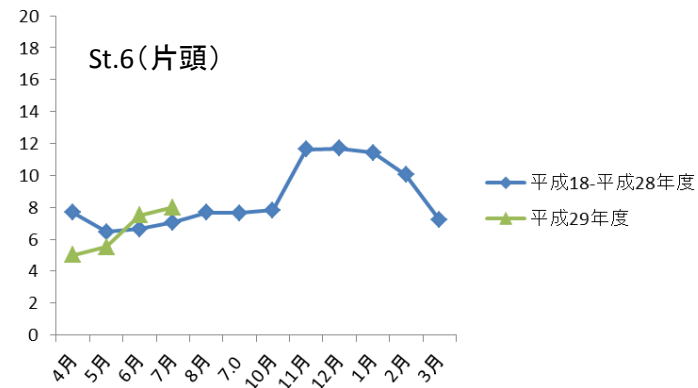
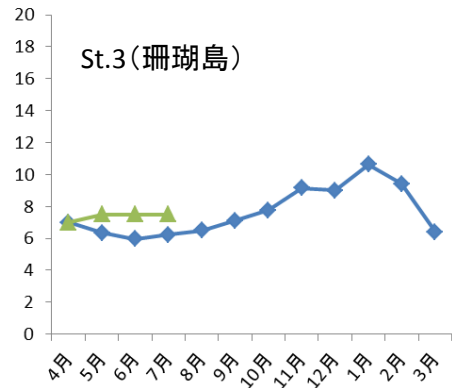
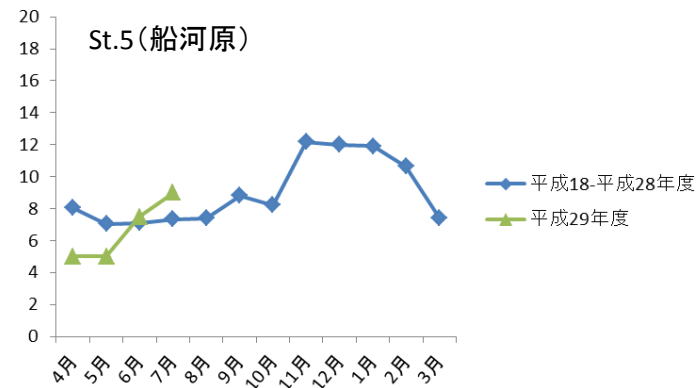
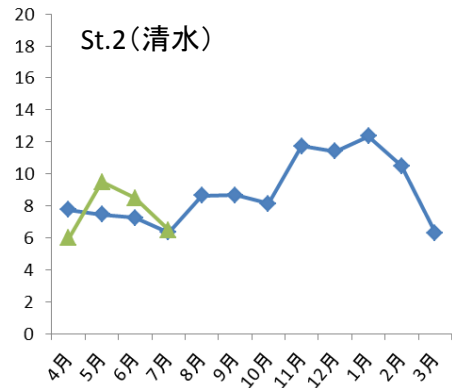
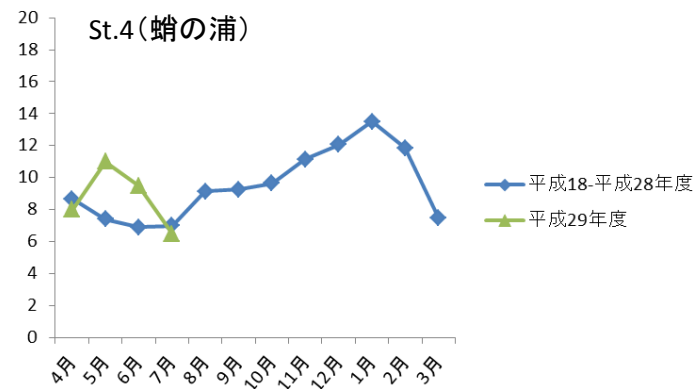
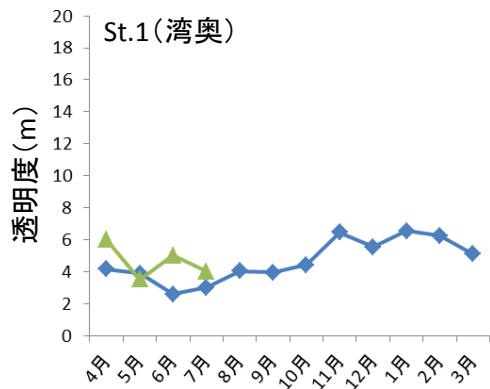


図2 透明度の推移

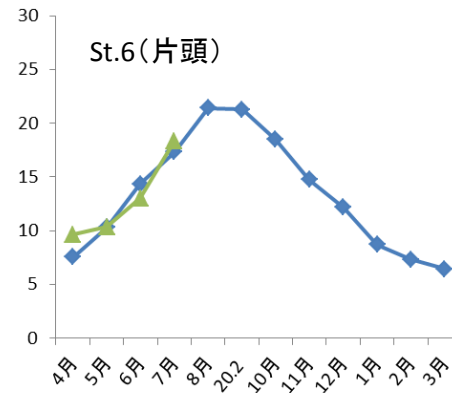
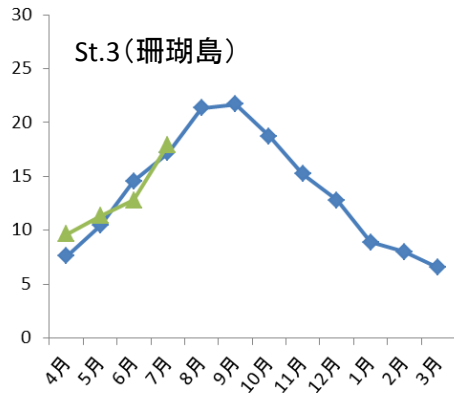
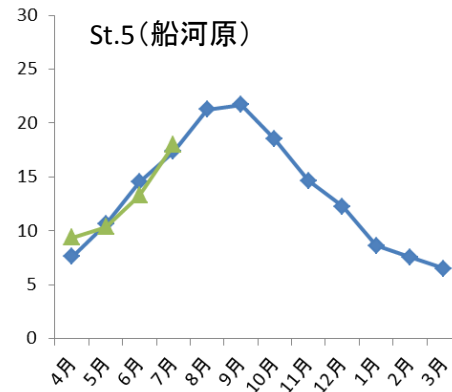
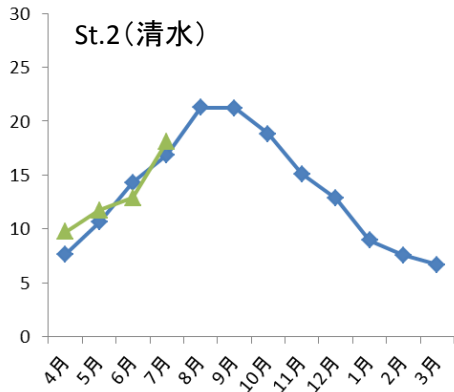
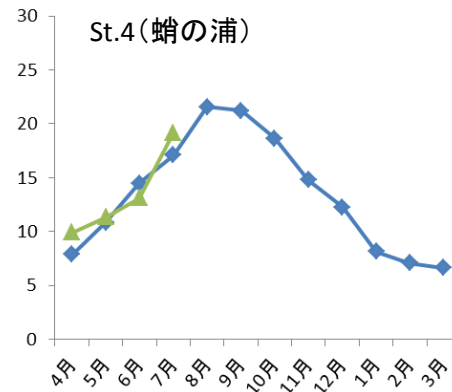
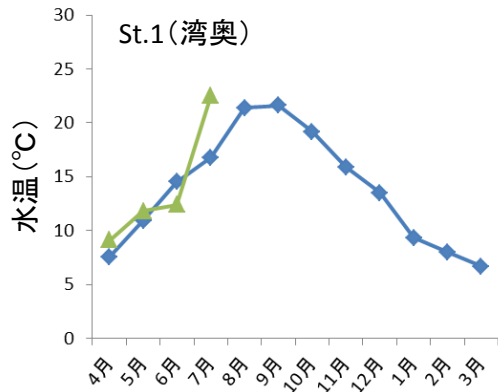


図3 水深2.5mの水温の推移

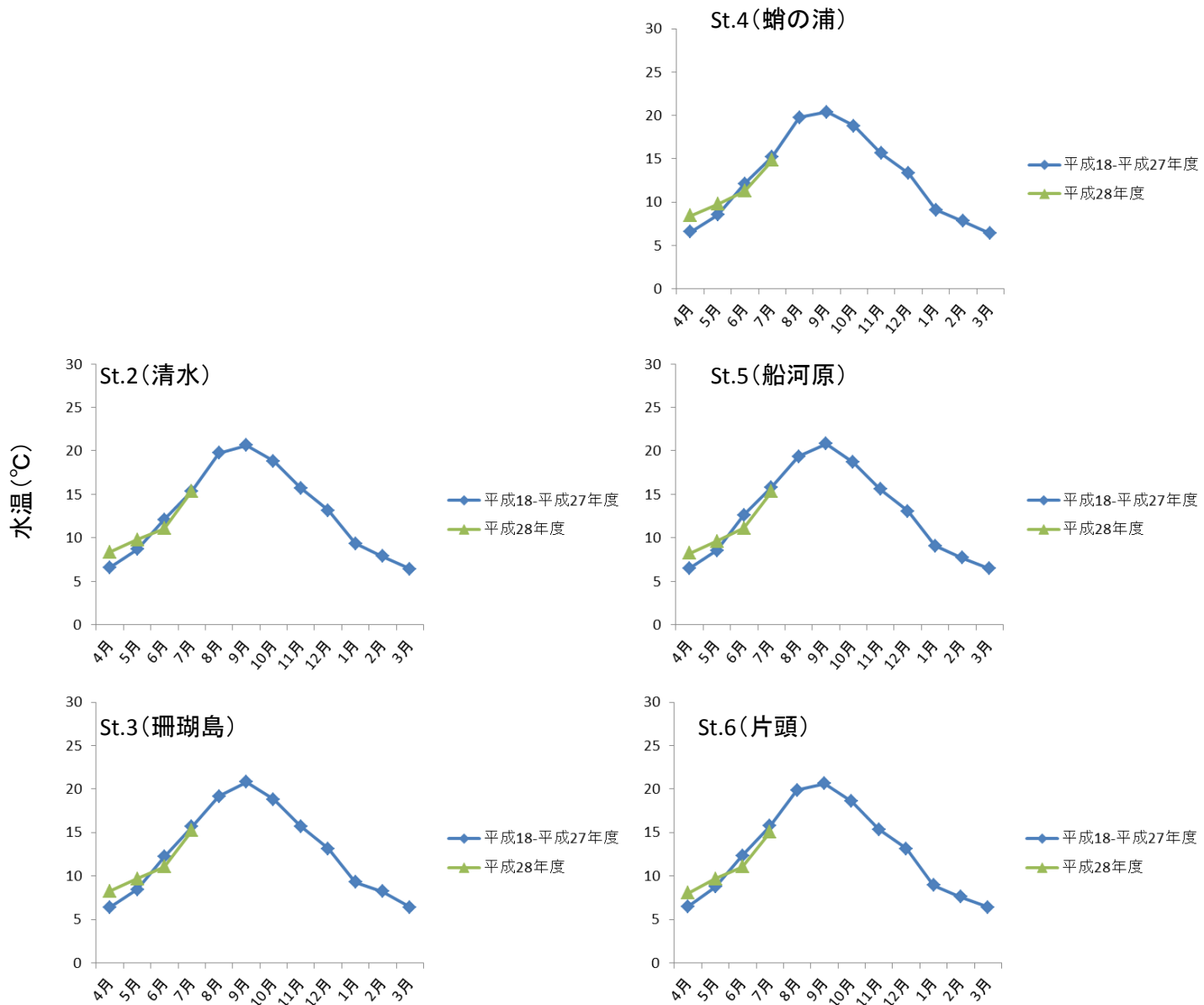
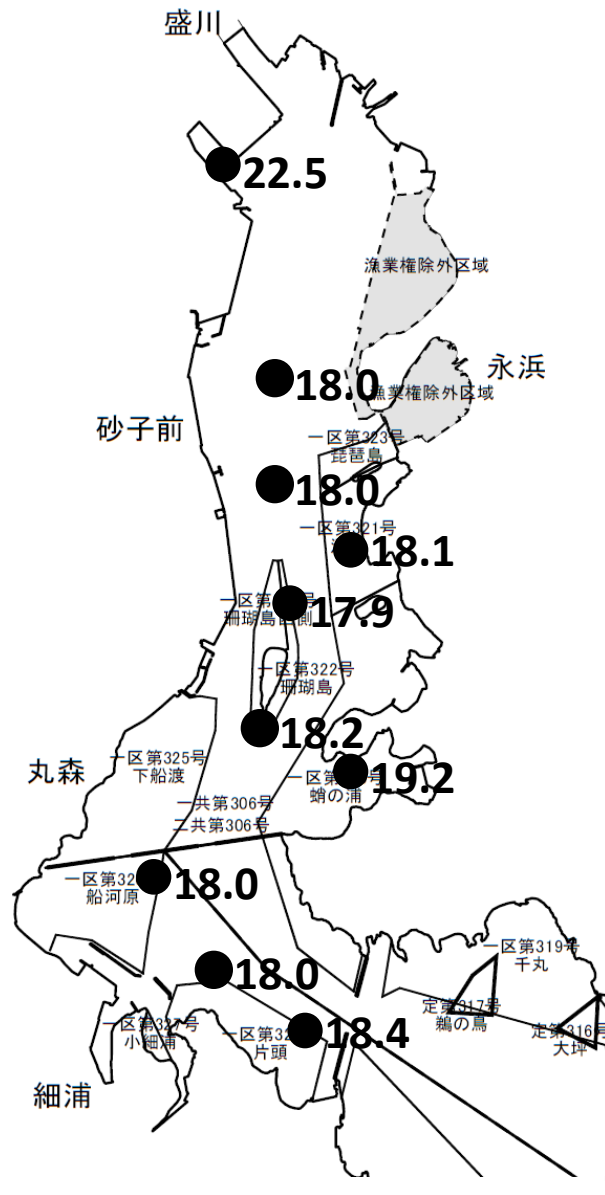


図4 水深10mの水温の推移



©岩手県（漁業権連絡図）

図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

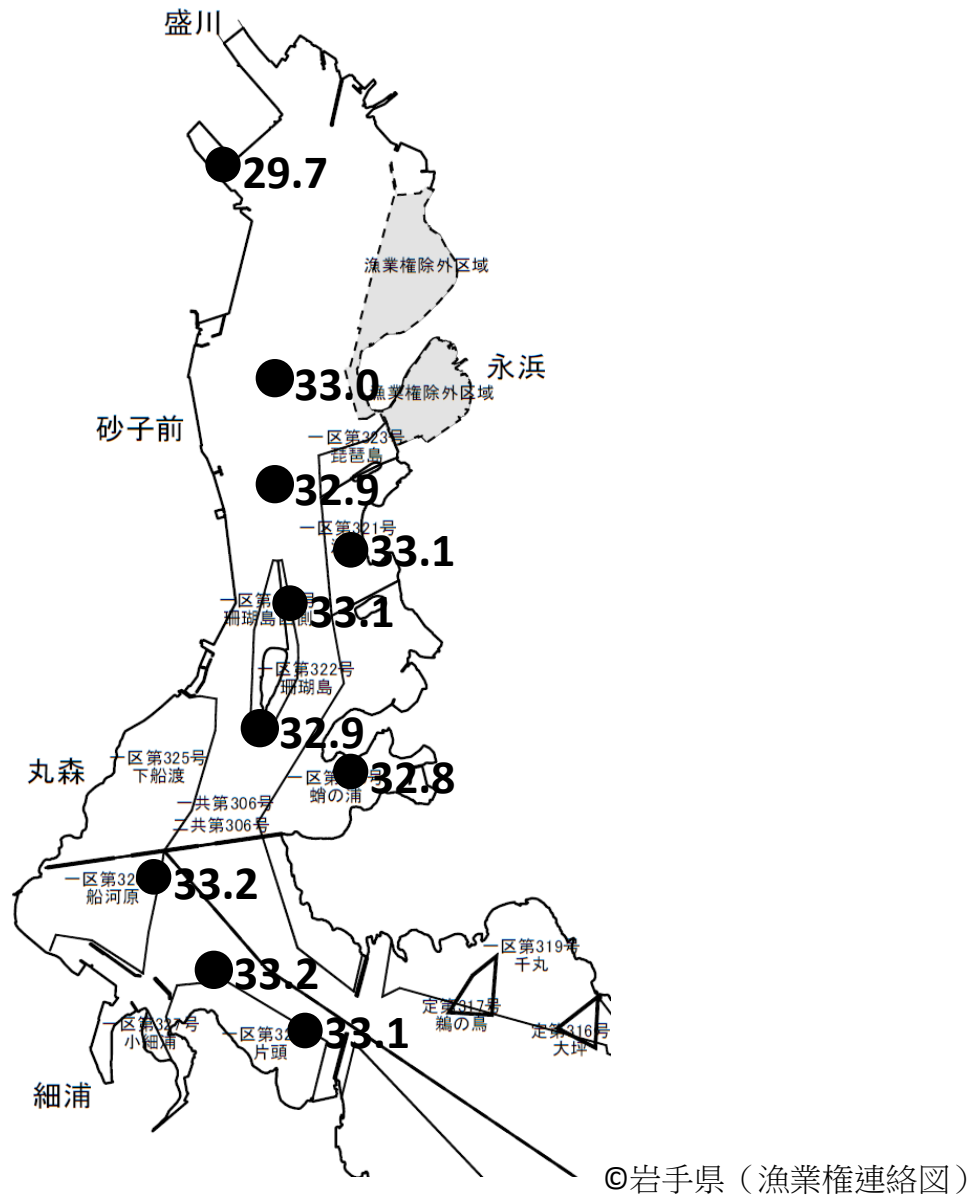


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

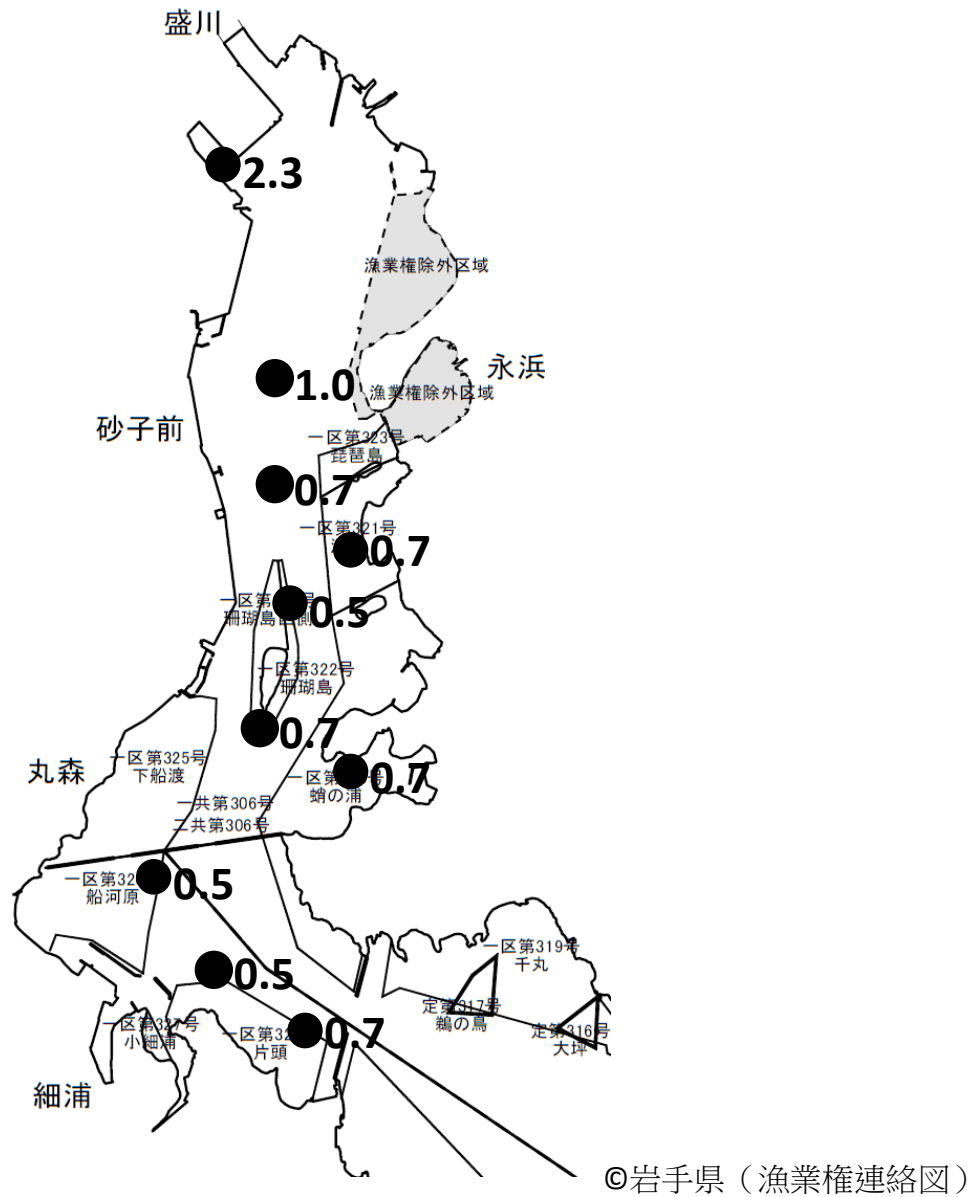


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。